

奉納書道展、締め切り迫る！ 各院または納経所へお届けください。

積善

題字 第241世天台座主 玄深師(恵亮院蔵)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺

〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187

納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187

恵亮院 TEL/FAX 086-942-3788

本乗院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823

吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789

定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490

明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069

圓乗院 TEL 086-942-2356

ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

一口法話

3つの仏教確率

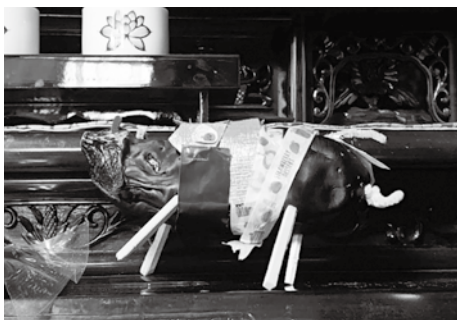
「確率」といえば、一番生活に密着しててなじみ深いものが「降水確率」ではないでしょうか。天気予報で降水確率が高ければ、出かける時に雨具を用意したり、家にいれば洗濯物を控えてみたり、あたった、はずれたと言いながらも、日常生活の目安として大変重宝しています。

かたや信仰生活では、三つの「仏教確率」というものがあります。まず一つ目は「肉体の死亡率は100%」ということです。考えるまでもないこととお思いでしょうが、日頃の生活の中では意外と忘れ去られがちです。しかし身内や大切な方の死をまのあたりにした時、ようやく実感します。人は誰しも「生老病死」を避けては通れません。それが仏教の基本の一つです。

次に二つ目は「たましいの消滅率は0%」ということです。肉体は滅しても、たましいははるか昔より未来の果てまでも続いていくという「輪廻転生」の考え方も、仏教の基本の一つです。

そしてもう一つ、三つ目は「たましいがいずれ悟りにいたる確率は100%」ということ。輪廻転生から抜け出し、すべての生きとし生けるものが必ず悟りにいたる。お釈迦さまは「法華経」というお経で約束してくださっています。これぞまさしく今に伝わる「大乘仏教」の基本となる考え方です。

この三つの仏教確率を、皆さまの信仰生活の目安にいただければと思います。



新型コロナウイルスに関する参拝のお願い

上寺山餘慶寺では各諸堂に消毒用のアルコールを設置しておりますので参拝をされる際はアルコール消毒をお願いしております。



餘慶寺からのお知らせ

薬師縁日(於 薬師堂)

毎月8日 午前10時～ (8月はありません。)
護摩祈禱をしています。ご祈禱のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

観音縁日(於 本堂)

毎月18日 午前8時～
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

餘慶寺HPアドレス

QRコード



<https://yokeiji.or.jp/>

餘慶寺境内紹介

十三佛堂

餘慶寺の三重塔西側にある十三佛堂を皆様はご存じでしょうか？

十三佛堂には亡くなった方々があの世で十人の王様による裁きを受ける際、その方に付き添って助けてくださる仏様達がお祀りされています。

餘慶寺でのご葬儀の際には十三佛の写経をお渡ししており、それぞれの仏様の台座に奉納していただき亡くなった方の菩提をお祈りしております。

また十三佛堂には仏様の世界を顕した金剛界、胎藏界曼荼羅を飾っており、参拝者の方が入口から地下へと続く階段を降りた先で仏様の世界を体験できるような荘厳をしておりますので是非餘慶寺十三佛堂へお詣り下さい。

※八角堂と回廊の間に入入口があり扉を開けるとすぐに地下へ続く階段がありますので足元には十分ご注意ください。



よけいじ寺子屋だより

寺子屋写真館



今後の予定

☆「生活の中の仏教」 九月二十五日(土)

講師 恵亮院名譽住職

横野祐彰師

☆「寺宝展特別講演」 十月十日(日)

※詳しくは餘慶寺HPをご覧ください。

☆「暮らしの中の仏教用語」 十月二十三日(土)

講師 定光院住職

西野祐誠師

☆「餘慶寺仏教講座」 十一月二十一日(日)

講師 本乗院住職

小林周伸師

☆「楽しく年賀状づくり」 十二月十一日(土)

講師 日本画家岡山日展会会員 神戸淑子先生

岡本昌幸師

☆「餘慶寺仏教講座」 十二月十一日(土)

講師 明王院住職

岡本昌幸師

※どなたでも聴講できます。
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により日程が変更になる場合がございます、詳しくはHPをご覧ください。

編集後記

セミの鳴き声が減り夏の終わりをを感じ始めた祐聖です。

新型コロナウイルスの影響でお寺にいる時間が増えたので、普段手を付けていない箇所の大掃除や日々の掃除にどんな熱が入り、先日ついに掃除のお手伝いをしてくれる自動掃除ロボットのルンパを購入しました。これで台所やリビングの掃除が少し楽できると思うので感動したので、ルンパが掃除をスムーズにする為に床に置いてある物をどける作業をしてしまひ汗ダクダクになってしまひおまわす「本末転倒やん！」と悲鳴をあげてしまいました。

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めて丸一年が経ち、コロナ禍での生活様式に慣れ始めてしまっている今こそ、もう一度日々の感染予防チェックをしていきましょう。

合掌

薬師護摩祈禱 護摩木三百円 木札授与三千円／五千円

今年の寺宝展の様子



餘慶寺 寺宝展

十月十日(日)九時三十分～十六時

会場 本堂・薬師堂・餘慶寺会館

今年で第十九回となりました餘慶寺寺宝展が右記日時に開催されます。今回も餘慶寺に祀られている様々な仏像や寺宝を展示致します。そのほか、カフェや出店など、様々なイベントをご用意して皆様のお参りをお待ちしていますので、お誘い合わせの上、ぜひ上寺へおいでください。昨年同様、新型コロナウイルス感染予防として受付にて検温をお願いしております。なお、詳細につきましては別紙チラシをご覧ください。

古い塔婆のお焚き上げや、古い盆提灯の供養もしていますので餘慶寺本堂へお持ちください。

餘慶寺水まつりのご報告

八月二十八日(土)十八時より、餘慶寺本堂・境内において水まつり(施餓鬼会・万灯会)を厳修いたしました。

施餓鬼会とは、阿難が釈尊に教えを請い、餓鬼の予言により残り三日の命であった寿命を延ばすことができた説話にもとづく仏教行事で、餓鬼だけでなく、先祖代々の供養を行い、同時にみなさん自身の福德延寿をお祈りさせていただく法要です。

また万灯会では、奉納していただきました万灯会灯籠に灯りを灯しご先祖様の菩提をお祈りいたしました。

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置期間内での開催となり、昨年同様規模を縮小しての水まつりにはなりましたが、皆様のご先祖様を供養する気持ちに縮小というものはございません。

我々も今できる事を精一杯精進して行くことの大切を改めて感じさせていただけた行事となりました。



日吉・愛宕社石積み修復のお知らせ

七月末より餘慶寺三重塔北側にある愛宕社の石垣修繕工事を行っております。

愛宕社では愛宕大権現をお祀りしており、京都市内で最高峰の霊山である愛宕山を総本宮とします。

社の中には、大陸風の甲冑をつけ、右手には錫杖、左手に宝珠を持ち、白馬に乗った勝軍地藏(愛宕権現の本地仏)がお祀りしており、愛宕権現は、平安の昔から火防の神様として人々から崇拝されてきましたが、室町時代頃からは、足利尊氏が強く信仰していたことにより、武士の間で信仰が広まり、戦勝の神として尊拝されてきました。

餘慶寺でも古くより人々から信仰されており長年餘慶寺に参拝に来られる皆様を見守っておりますが、時代とともに社を支える石垣にずれができましたので、またこれから先も皆様安心して参拝ができるよう修復修繕工事を行っております。

